

★万が一【自動車事故（交通事故）】に遭ってしまったら★

★万が一、交通事故に遭ってしまったら、パニックになってしまおうと思いますが、出来るだけ落ち着いて次のことを行うようにして下さい。

1.警察（110番）への事故の連絡と負傷者の救助をしてください

事故の大きさにかかわらず必ず警察（110番）へ事故の通報をしてください。

負傷者がいる場合は救急車（119番）を呼んだり、周りの人に助けを求めるなどして下さい。

* 加害者は警察へ事故の報告をする義務がありますが、被害者からも必ず届出をしてください。（加害者が届け出ないこともあるため）。

2.事故相手の確認してください

* 次のことを確認してください

- ① 相手車両の登録ナンバー（これは、確実に記録した方がよいです。）
- ② 事故相手の住所・氏名・連絡先
- ③ 被害者になってしまった場合は、加害者の勤務先の社名と連絡先（加害者が仕事の場合、加害者の雇主も賠償責任が発生することがあるため）
- ④ 事故相手側が加入している自動車保険の保険会社名 等

3.保険会社への連絡をしてください

事故の大きさにかかわらず出来るだけ早く『事故状況』を、ご加入の保険会社の『事故受付』へご報告下さい。

◆ 保険会社へご報告されても、必ず保険をご使用になる必要はありません。

* ただし、修理完了後に事故報告をされても、保険金は支払われません。

♥ お車が走行不能になっていた場合は、多くの保険会社が専用の受付などで、**レッカー移動無料サービス**等を行っている場合がありますので事前に保険を確認しておくことをおすすめします。

4.事故の規模を自身で判断しないでください

自動車保険を利用しようと思われる場合は特に、その場で車両の損傷範囲・程度や示談の話し合い等は、しない方がよいです。

身体のこと自動車のことプロが診てからではないと、判断はつかないと思いますので。

★★以上の手続きをされませんと保険金が支払われない場合がありますのでご注意下さい。★★

5.事故状況の記録（メモ）を作成してください

お身体の具合が悪くなければ、現場の住所をメモしたり、見取り図や事故の経過を記録したり、カメラ、カメラ付携帯電話をお持ちの場合は、写真を撮っておくことも役に立ちます。

6.もしできたら事故の証人を確保してください

事故の目撃者がいる場合、その人の証言をメモし、もし出来たら氏名・連絡先をうかがい、後日必要ならば証人になってくれるように頼んでおくのと良いです。

7.必ず医師の診断を受けてください

事故当時は、興奮状態にあるなど、大したことはない（痛くない）と思っても、意外に重傷であることもありますので、事故にあったら医師の診断を受けることが大切です。

8.ひき逃げなどに遭ってしまった場合は？

ひき逃げにあたり、無保険車や盗難車によって傷害を被ったり、加害者が過失割合を認めなかった場合などは、ご自身がご加入の自動車保険に付帯している一般条件の『**人身傷害保険**』から、治療費の支払いを受けることが出来ます。

また、一般条件の『**人身傷害保険**』を付帯されていない方が、ひき逃げされたり、無保険車や盗難車被害によって被害を受けた方に対しては、政府の保障事業によって被害者の救済が行われます。保障事業への請求は、国（国土交通省）から法律に基づいて、業務の委託を受けた保険会社等で受付けています。

* 両方を受け取ることは、出来ません。

